

ニッケル協会・東京事務所 日本語でブログ発信 最新用途中心に可能性紹介

ニッケル協会東京事務所(所在地||東京都江崎慎二所長)が日本語のニッケルブログ(<http://www.nickel-japan.com/rmagazine/blog.html>)を発信している。ベルギー本拠の本家・ニッケル協会の英文ブログを和訳したもの。2020年1月分から記事をアップし、リチウムイオン電池(LiB)、再生可能エネルギー、マリンスクラバー(大型船舶用の大気汚染防止装置)などの最新用

途を中心に、ニッケルの特性と可能性を紹介する。ニッケル消費のボリュームゾーンはステンレス鋼やニッケル含有合金。ニッケルブログでは「潜在力の高い用途」として、水道配管やマリンスクラバーを取り上げる。東京都がステンレス鋼製の部分波型給水管で漏水率を劇的に下げた例を挙げ、置き換えのメリットを周知する。マリンスクラバー

は国際海事機関の硫黄酸化物規制で注目され、船主は低硫黄燃料への転換がスクラバー装置の設置を求められる。スクラバーの内部には高耐食のニッケル合金を使う。最も注目されるLiB

B用途については、ニッケル化の動向、コストと性能の攻防、電池のバリューチェーン構築をめぐる話題などを紹介する。LiBは再生可能エネルギーの蓄電池にも使われ、ニッケル協会も中国のエネルギー政策などに着

ニッケル協会 東京事務所
Nickel
Knowledge for a brighter future

サイトマップ | お問い合わせ | リンク集
投稿者 | 文庫検索

ニッケル協会とは | ニッケルについて | 製品・技術情報 | 健康と環境 | 持続可能性の選行 | 発行物のご案内

ホーム > 発行物のご案内 > ニッケルブログ

発行物のご案内

- ニッケル協会最新号
- ニッケル協会パンフレット
- ニッケルブログ
- その他発行物

ニッケルブログ

2020年6月10日
電池技術の攻防:コストvs性能
直近の3ヶ月は未曾有の状況だったと言えるでしょう。しかしこの甚ださなか、世界の経済が大幅に下落する一方で、電気自動車(EV)と電池業界では活発な活動がなされていっています。

2020年6月5日
中国のエネルギー政策の課題:ニッケルの将来的な好適につながる最新動向
中国の新エネルギー法は国内のエネルギー構造を最適化し、化石エネルギーの利用を削減します。中国の政策目標と合致するニッケルは、よりクリーンなエネルギーに変えられる未来の世界において極めて重要な役割を果たすことになるでしょう。